

## 平成26年9月17日開催 『研究データへのDOI登録実験プロジェクト』公募説明会 質疑応答

No	質問対象	項目	質問	回答
1	プロジェクト 計画書	2.1目的とゴール 「②ゴール」	「研究データへのDOI登録のポリシー」とありますが、どのようなものを想定しているのでしょうか。	研究データには1秒後毎のデータにDOIを登録するかどうか等の粒度の問題があります。そのため、どのくらいの粒度にDOIをつける、といったようなポリシーを決めていく予定です。 また、研究データとして実験データや観測データ、調査データと多様ですので、どのようなものに対してDOIを登録するかを決めていくこととなります。
2	''	''	学術データには実験データや観測データがありますが、そういったものの品質の問題についてのポリシーはあるのでしょうか。	DOI登録においては品質保証を求めているはず、品質保証をJaLCで実施することはありません。ただし、日本で研究データの流通を考えたときに、誰がその役割を担うのかといったことを明確にする必要があります。本プロジェクト内で議論し、誰が品質保証をするのか、JaLCでできることは限られていますがどのようなことを行うか等を見いだしていきます。
3	''	''	品質保証についても実験プロジェクトの中で考えていくということですが、来年4月以降の実登録までに品質保証に関するポリシーが定まらなければDOI登録しないのでしょうか。それとも検討と実登録は同時並行になるのでしょうか。	DOI登録自体はデータの品質保証とは切り離されたものとなっています。品質保証がDOI登録の制約になるわけではありません。従って来年4月の実登録開始までにポリシーに入れる品質保証については推奨事項のような緩やかな規定となる想定であり、何かしらの方針が立てられると考えています。
4	''	2.1目的とゴール 「①方式検討」	実際の検討作業は参加機関がそれぞれに行うと思いますが、JaLC事務局はどのように関わっていくのでしょうか。	JaLC事務局は、DataCiteの勉強会やJaLCのシステムについての説明等を行います。その2つが主な係わりですが、プロジェクト内の議論によっては参加し、その取り纏めを行うこともあります。
5	''	2.3.本プロジェクト参加機関が行うこと 「表1」「②DOI登録テスト」「③実DOI登録」	「②DOI登録テスト」にある「登録前に入会の意思を提出」と「③実DOI登録」にある「DOI登録は必須ではない」とはどのような関連があるのでしょうか。	本プロジェクトの参加機関によっては、「①方式検討」でその機関が時期尚早と判断しDOI登録を行わないこともありえます。あるいは、DOIを登録する準備が登録時期までに間に合わないため「①方式検討」には参加をし、直ちに登録テストや実登録を行わない、ということもあります。このように「プロジェクトに参加はするがDOIの実登録を行わない」ことを想定して「DOI登録は必須ではない」としています。 なお、実DOI登録に向けてDOI登録テストに入る時には、JaLC入会の機関の意思を確認しますが、上述のようにDOI登録は必須ではありませんので実登録を希望しない参加機関へは入会の意思を求めることはありません。プロジェクトのみ参加して、入会しないということも可能です。
6	''	2.4 費用	終了後の会員になる場合の会費はどのようなものですか。	会費一覧表はジャパンリンクセンター参加規約 別表1に掲載していますのでそちらをご参照ください。
7	''	3.2 応募者の要件	DOIを登録するにあたり、登録を始める前の様々な事務処理がハードルが高いです。DOIの動向を見て、参加するかどうか判断するというのは可能でしょうか。	方式検討の間はJaLCへの参加について保留できます。また、参加機関の都合を考慮し、登録開始時期を後ろにすることも対応していく予定です。
8	その他		現在、JaLCの準会員なのですが、参加するに当たり改めて書類が必要になるのですか。	必要です。ただ、準会員については正会員がまとめてプロジェクト参加を行う可能性もありますので、正会員に確認をしてください。